

学長式辞

学長式辞にあたって、まず、ミャンマーからの学生について、ふれることをお許しください。日本に入国して入学式の直前に発生したミャンマーの大地震は、みなさんにとって、とても大きく悲しい驚きであり、苦しみであったと思います。ミャンマーの実家の家が壊れた学生、ご家族や友人といまだ連絡ができない学生もいると聞いています。どんなに不安なことでしょう。

みなさんに対して、私たちになにができるのか、この数日間、さまざまなことを考えています。みなさんを支えていくことやミャンマーへの支援についても、できるところからやっていきたいと思います。そんな私たちが、いま言えること、それは、「今日からみなさんは、佐賀女子短期大学のファミリーなのです。私たちは、ミャンマーの学生のみなさんとともにある。決してみなさんを孤独にはしない、ひとりにはしない」ということです。ともにありたい、これからも応援していくという気持ちを込めて、ミャンマーのみなさん、学生たちと家族のみなさんに拍手を送りたいと思います。

さて、本日より佐賀女子短期大学の学生となった219名の学生のみなさん、ご家族のみなさま、入学おめでとうございます。また、本日も臨席いただいたスペシャルゲスト、来賓のみなさま、これから留学生をサポートくださる施設のみなさま、すべての関係者のみなさまにお礼を申し上げます。

地元佐賀をはじめ、九州・沖縄すべての県、東京、島根、山口から、佐賀女子短期大学大学に集まった新入生のみなさん！そして、海外は、ミャンマー、韓国、中国、ネパール、ベトナム、台湾、6つの国と地域から集まった111名の留学生のみなさん。また、今年、全学男女共学となった本学に、女子大の名前のままでも入学してくれた21名の男子学生のみなさん！みなさんを心から歓迎します。

佐賀女子短期大学は、佐賀女子高校、ふたばこども園、ひしのみこども園とともに、旭学園を構成している学校で、旭学園は1987年、いまから128年前に、創立者・中島ヤスがたちあげた裁縫学校をそのルーツとしています。旭という漢字は、朝日が昇るという意味ですが、それは「太陽の光はだれにでも、平等に降り注ぐ、貧しい人にも豊かな人にも。あらゆる格差を超えて、温かく、豊かな愛でまわりを包む、そんな人をめざそう」という中島ヤスの思想からきています。みなさんがよく目にする「Be Sunny!」という言葉は、太陽の光＝旭から発想されたものです。

みなさん、いまほど、このような考えが大切に思える時代はないと思います。むごたらしい戦争と暴力を止められない政治。意見の違いを極端で深刻な対立にして煽るような一部のソーシャルメディア。格差社会と言われ、貧富やジェンダーなどさまざまな格差が露呈していますが、ともすれば「能力主義」や「評価主義」によって、それが「敗れた」個人の責任であるかのような扱われる競争社会。地球環境の前途もふくめて、先行きが不透明で不安な生きづらい社会ともいえます。

そんななかで、はたして希望はあるのでしょうか？

あります。みなさん自身が、未来の希望です。そして、いまのみなさんがすでに、社会の宝物、宝石のような存在なのです。若者にとっては、日本は停滞する曇り空のようなどんよりした社会のようなものだったかもしれません。小学校、中学校、高校と今日まで生きてきて、どうにかこうにか、大学にたどりついてくれただけでも、よくがんばりましたねと言いたいです。

そして、みなさんは、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭、介護福祉士、司書という市民の教育・福祉を現場で直接になう進路を選択しようとしています。また、高度な韓国語の能力や国際経験、デザインやITの知識と技術で、地域のグローバル化や観光などの産業の発展に貢献しようとしています。留学生のみなさんにとっても、日本には活躍の機会がたくさんあります。

社会は、さらに成長進化したみなさんの登場を、両手を広げて、待っています。この2年間、豊富な知識とたくさんの経験を蓄えることはもちろんですが、最も私が強調したいのは、「人との違いを受け入れ、楽しみ、ともに働けるチーム」を仲間と協力して、つくっていく力を身につけてほしいということです。

今日からは大学生として、生まれ育った場所や国の違いを超えて、混ざり合って、素晴らしいコミュニティをつくってほしいと思います。大学の姿は、25年後の未来社会の姿だという人がいます。みなさんは学びながら、未来をデザインしてください。

それが、「太陽の光のように、人を支え、人に寄り添い、人とともに生きてほしい」という本学の想いです。

光といえば、「電気、電球」の発明により、「世界から夜が消えた」といわれた発明家のエジソンが、失敗について、こんな言葉を残しています。「私は失敗したことがない、ただ、一万通りのうまく行かない方法を見つけたただけだ」と。

失敗を経験するためにこそ学校はあるのです。

We can do it ! きっとうまくいく!

私たち教職員は、常にみなさんのそばにいます。

入学おめでとうございます!

2025年4月1日

佐賀女子短期大学 学長 今村 正治